

# 議員の定数についてのご意見をお待ちしています。

矢板市議会では、議員定数検討特別委員会を設置し、適正な議員定数を検討しています。

この委員会では定数の削減・現状維持・増について、それぞれのメリットとデメリットについて調査・研究を行い、議論を重ねてまいりました。

より良い結果にするため、市民の皆さんからのご意見をお待ちしております。

## ○記載いただく内容

- ・年齢
- ・性別
- ・市内/市外
- ・議員定数について

(※定数は「〇人増」「〇人減」「現状維持」とそれに対するご意見をご記入ください。)

## ○議員定数についてのご意見はこちらまでお寄せください。

- Web: Webの場合は右のQRコードから ⇒
- Eメール: gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp
- FAX: 0287-44-1100
- 郵送: 〒329-2192 矢板市本町5-4 矢板市議会事務局 宛

## 次回6月定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
5/29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	本会議(一般質問)		常任委員会			
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	7/1	2

5/19(木) 全員協議会・臨時会議 7/21(木) 全員協議会  
いずれの日も10:00開会(変更の場合あります。)

\*一般質問は、新型コロナウイルスの感染状況により変更の場合があります。

## +編集後記+

記事の中でも取り扱いましたが、矢板市議会は、令和4年5月より、通常議会に移行することになりました。

この移行にあたっては、先進自治体での導入状況の調査やオンラインによる行政視察など調査研究を重ねてまいりました。

移行後は、突発的に発生する災害の増加や、緊急を要する社会的・経済的な課題に対し、議会として、より迅速にかつ柔軟に対応してまいります。

矢板市議会は、これからも一層市民の皆様の声に寄り添う存在でありたいと願っております。

これからも、どうぞ宜しくお願ひ致します。

(石塚 政行)

※次号(第218号)は8月1日発行予定です。



〈Webによるご意見〉



### 議会の録画を見る。

本会議の模様は市議会ホームページから見ることができます。

### 議会に参加する。

議会に対して、陳情等を提出することができます。  
また、ご意見・ご提言なども隨時お寄せください。

### 議会の傍聴について。

新型コロナウイルス感染症対策のため、20人までとしています。  
また、マスク、検温など基本的な対策にご協力ください。

### 議会だよりへの声。

より良い議会だより作成のため、皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。

Webアンケートは  
こちら▶



第217号

矢板市議会だより  
2022年5月1日

# 矢板市議会だより

## 第371回・第372回・第373回臨時会

新型コロナウイルス感染症関連予算案などを可決

## 第374回 3月定例会

令和4年度当初予算案などを可決

## 第375回 臨時会

一般会計補正予算案などを可決

第217号

令和4年5月1日

# 矢板市の歳出簿

## 「今年は何に使われる?」



### 議場で自習! 待ってるよ!

[自習室利用時間] 平日 8:30~17:00

※開いてないときもあるので、  
行きたい!と思った時には、お電話くださいね。

〒329-2192 矢板市本町5番4号

Tel : 0287-43-6216 Fax : 0287-44-1100

Mail : gikaijimukyoku@city.yaita.tochigi.jp

矢板市議会 検索

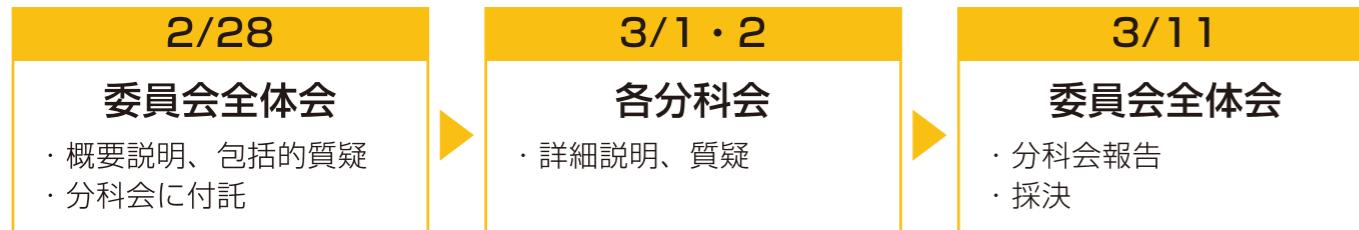
## 目次

特集「令和4年度予算案審査」	2
矢板市議会の審議結果	6
委員会審査レポート	7
市勢発展のために!「一般質問」報告	10
矢板市議会ニュース	12
政務活動費の交付状況	13
議員定数についてのご意見をお待ちしています。	16

# 予算審査の概要をお知らせします。

2月28日、3月1・2・11日の4日間、予算審査特別委員会・分科会を開催し、令和4年度の「税金の使い道」となる予算案を審査しました。

## 【予算審査の過程】



新型コロナウイルス感染症対策やアフターコロナを見据えた取り組み、文化スポーツ複合施設の建設着手やSociety5.0への対応などにより予算が増加しています。

## 【当初予算額の比較】

	令和4年度当初予算	令和3年度当初予算	増減額	伸び率
<b>一般会計</b>				
うち議会費	139億2000万円	130億800万円	+9億1200万円	+7.0%
	1億5296万円	1億5421万円	-125万円	-0.8%
<b>特別会計</b>				
介護保険	30億8680万円	31億6580万円	-7900万円	-2.5%
国民健康保険	36億3660万円	36億1480万円	+2180万円	+0.6%
後期高齢者医療	4億3570万円	4億710万円	+2860万円	+7.0%
ハッピーハイランド矢板排水処理事業	1150万円	960万円	+190万円	+19.8%
<b>公営企業会計</b>				
水道事業	12億5700万円	12億6400万円	-700万円	-0.6%
下水道事業	11億8390万円	12億9210万円	-1億820万円	-8.4%

# このような審査をしました。

## 歳入

問 財源の確保等の取組の中で、今回の歳入で力を入れた予算について伺う。

答 いずれも積極的に確保することで取り組んでいるが、特に国・県の補助金は最大限に活用して事業を行うことである。それがまさに文化スポーツ複合施設の地方創生拠点整備交付金である。採択要件が厳しいが採択となりスポーツ庁長官の表彰に結びついたところである。



## 総務費

問 矢板市デジタル戦略における地域活性化企業人について、具体的な内容を確認したい。

答 地域活性化企業人については、デジタル戦略を推進していく中で、相談室的な形で職員や住民に対し情報共有を図り、知見を広げていくところが重要となるため、その部分について活動してもらうことが主になる。

問 バス路線対策事業について説明いただきたい。

答 新高徳駅と矢板駅の間を民間路線バスが走っていたが、その廃止に伴い、矢板市、塩谷町、日光市の2市1町で市町村生活交通路線という形で運行している。

これは平成26年10月1日から運行しており、自治体の路線延長の割合に応じて、かかった経費を負担している。その割合は矢板市が33.04%、塩谷町が56.04%、日光市が10.92%である。矢板市においては予算900万円である。

問 地域づくり支援事業の移転について伺う。

答 ふるさと支援センターTAKIBIは現在駅西地区にあり、利用者が増えている状況である。現在、コロナ対策で利用者の人数制限や、専用駐車場がないなどの課題が出ていた。駅東地区に民間のサテライトオフィスが整備されるので、そこにふるさと支援センターも移転できればと考えている。移転によりサテライトオフィスを利用する市外の方とTAKIBIを利用する地域の方との交流を促進し、地域内外の交流ができればと考えている。

問 税金の納付に関して、今はカード払いが普及していると思うが、市としての考えを伺う。

答 クレジットカードによる納付も検討したが、その当時は手数料を納税者が負担する形だったため、PayPayやLINE Payを利用しての納付を導入した。これらの納付に伴う手数料は矢板市で負担している。

## 民生費・衛生費

**問** 城の湯温泉センターについて、令和6年度以降、売却や廃止をせずにスポーツツーリズムの拠点として今後も維持していくのか。

**答** 現在の予定では、スポーツツーリズムの拠点として整備をしていくと考えているのは、2号館の温泉入浴施設と休憩所等である。1号館の温泉施設はそのまま運営し、2号館についてはスポーツツーリズムの拠点等になるが、それにより、すぐに温泉を廃止するという考えではない。今後ポンプの故障等も考えられるため、現在の入浴施設がいつまでとははっきり申し上げられないが、令和6年度以降は、施設運営の重きをスポーツツーリズムに置いていくと今考えている。

**問** 国や県が進めるプラスチックごみのリサイクルの推進について、市の取組を伺う。

**答** 4月からプラスチックごみを回収するよう国から通知が来ているが、具体的な内容は示されていない。市としては4月以降拠点回収から始める予定である。

## 農林水産業費

**問** 地籍調査の計画について伺う。

**答** 来年度については、矢板中学校の南側のエリアを2地区に分けて、塚原川まで予定している。その先、塚原川の西側については、令和5年度に補助要望ができるよう、法務局と協議を重ねているところである。

**問** 林業振興費での地域おこし協力隊3名採用の目的について伺う。

**問** 子育て総合支援拠点運営事業の子ども未来館について、次年度に向けての展望を伺う。

**答** キッズスポーツ、育児教室、家庭相談員を配置しての相談業務、児童館業務としての各種セミナー等をできればと思っている。



**問** 児童福祉対策事業における婚活等に要する経費について伺う。

**答** 栃木県が運営母体であるが、栃木結婚支援センターというものがあり、そちらでは対面による結婚相談業務のほか、スマートフォンやタブレット等を使って結婚相手の紹介をしている。登録料として1万円かかるが、その半分を助成するものである。

## 商工費

**問** 観光費が増えた理由について説明をお願いしたい。

**答** 観光費の一番増えた要因としては、観光協会の活動支援事業の委託料のうちスポーツツーリズム推進事業、城の湯温泉センターのあり方検討の委託料などにより増額している。



**問** 八方ヶ原の山の駅たかはら周辺は観光シーズンになると渋滞する。市として対応を考えているか。

**答** 例年、ツツジの時期になると、山の駅たかはらにパークアンドバスライドという形でバスを運行している。また、交通誘導などを実施している。今年度についてはコロナのためバスは運行できなかったが、交通誘導については実施している。

## 土木費

**問** 矢板駅の南側人道橋は老朽化が進んでいる。今後の対応について伺う。

**答** 平成26年、27年の法定点検の結果を踏まえると、継続使用が可能となっており、補修が必要な部分はあるが、現在も継続して使用している状況である。

## 教育費

**問** 外国語指導助手活用事業の海外とのオンライン交流等について伺いたい。

**答** 中学生を対象に英語の検定、英語の学習向上、英会話から選択制として募集しており、そのうち希望者に、海外とのオンライン交流を3回予定している。

また、小学生を対象に英語で遊びイベントを3回、ALTと交流をしながら、英語で活動する楽しさや文化体験を行うなどを予定している。



**問** 矢板市デジタルミュージアムの利用者はどのくらいか。また、どのくらいのコンテンツがあるのか。

**答** 2月末現在で2万5739回のアクセスがあった。コンテンツ数については令和2年度に14件コンテンツを上げ、令和3年度で6件を上げる予定である。来年度は新たに17件のコンテンツを上げる予定である。

矢板市デジタルミュージアム

## 第371回・第372回・第373回・第375回 臨時会の審議結果

令和3年 第371回 12月臨時会 -12月22日-

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	市長の専決処分事項承認について 専決第11号 令和3年度矢板市一般会計補正予算（第9号）	承認
議案第2号	令和3年度矢板市一般会計補正予算（第10号）	原案可決

令和4年 第372回 1月臨時会 -1月7日-

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算（第11号）	原案可決

令和4年 第373回 2月臨時会 -2月9日-

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算（第12号）	原案可決

令和4年 第375回 3月臨時会 -3月30日-

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和3年度矢板市一般会計補正予算（第14号）	原案可決
議案第2号	矢板市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	矢板市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議員案第1号	矢板市議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決

## 第374回 定例会の審議結果

令和4年 第374回 3月定例会 -2月25日～3月17日-

議案番号	件 名	議決結果
議案第1号	令和4年度矢板市一般会計予算	原案可決
議案第2号	令和4年度矢板市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第3号	令和4年度矢板市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第4号	令和4年度矢板市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第5号	令和4年度矢板市ハッピーハイランド矢板排水処理事業特別会計予算	原案可決
議案第6号	令和4年度矢板市水道事業会計予算	原案可決
議案第7号	令和4年度矢板市下水道事業会計予算	原案可決
議案第8号	令和3年度矢板市一般会計補正予算（第13号）	原案可決
議案第9号	令和3年度矢板市国民健康保険特別会計予算（第3号）	原案可決
議案第10号	矢板市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について	原案可決
議案第11号	矢板市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第12号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第13号	矢板市ふるさと納税基金条例の一部改正について	原案可決
議案第14号	矢板市介護給付基金条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	矢板市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	矢板市消防団条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	塩谷広域行政組合規約の一部変更について	原案可決
追加議案第1号	矢板市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議員案第1号	ロシアによるウクライナ侵攻に対し平和的解決を求める決議	原案可決
議員案第2号	矢板市議會議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議員案第3号	矢板市議會議規則の一部改正について	原案可決
議員案第4号	市長の専決処分事項の指定について	原案可決
議員案第5号	栃木県立那須特別支援学校寄宿舎閉鎖に関する意見書	原案可決

議案をこのように審査しました。

## 委員会 審査 レポート

### 総務厚生常任委員会

◎高瀬由子 ○掛下法示 藤田欽哉 佐貫 薫  
小林勇治 宮本妙子 石井侑男 中村久信

#### ・令和3年度矢板市一般会計補正予算（第13号）

**概要** 歳入歳出全てについて検討を加え、過不足を精査の上、新たな財政需要に適切に対処することで編成し、その結果、歳入歳出にそれぞれ4億6270万円を追加計上し、予算総額を158億780万円に補正しようとするもの。

#### ・令和3年度矢板市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

**概要** 歳入歳出にそれぞれ272万5千円を追加計上し、予算総額を37億23万9千円に補正しようとするもの。

#### ・矢板市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の制定について

**概要** 地方自治法の規定に基づき、長や職員等の地方公共団体に対する損害賠償責任の一部免責ができるようになったことに伴い、所要の整備を行うため、新たに条例を制定するもの。

#### ・矢板市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

**概要** 人事院規則の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・特別職で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

**概要** 特別職で非常勤である産業医の報酬改正に伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・矢板市ふるさと納税基金条例の一部改正について

**概要** 企業版ふるさと納税による寄附金を矢板市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業の財源として活用することに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・矢板市介護給付基金条例の一部改正について

**概要** 地域支援事業等の財源として同基金の処分を可能とすることに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・矢板市国民健康保険税条例の一部改正について

**概要** 地方税法等の一部が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・矢板市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について

**概要** 栃木県の重度心身障害者医療費助成制度の改正に伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。

#### ・矢板市消防団条例の一部改正について

**概要** 消防団員の災害時等の出動報酬を見直すことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正するもの。





# 市勢発展のために! 「一般質問」報告

# 市政を 問う。

2/28

市政の課題や将来の展望について質す一般質問。  
3月議会では、3人の議員が質問をしました。  
「矢板を良くしたい！」  
各議員の熱い思い、ご一読ください。



高瀬 由子 議員

## 【今回の質問】

1. 文化スポーツ複合施設でのデジタル技術活用について  
-「支える」スポーツのために-
2. スポーツツーリズム周知について  
-持続可能なスポーツツーリズムのために-
3. ふるさと納税返礼品について  
-関心人口・関係人口・交流人口増のために-

【詳細QR】



## 質問

栃木県は「とちぎ未来アスリートプロジェクト」で持続可能な「支える」スポーツの構築を行っている。スポーツ庁に表彰された「文化スポーツ複合施設でのデジタル技術を活用した高付加価値サービス」においてどのような事業を展開するのか。

## 答弁

文化・スポーツ活動の映像配信、健康新行動を促進・支援する健康ステーション、運動能力を測定・分析するスポーツドック、地域・観光情報サービス、子供から高齢者までの体力向上プログラムなど未来技術を導入した新しいサービスの提供などを検討している。スポーツツーリズムの進化を図り地域の活性化に結び付けていく。

## 質問

平成28年及び平成29年に体験型返礼品を提案し、コト消費への拡充を図っていただいた。スポーツ・文化の施設利用券、野外活動体験券、食事券、宿泊券など体験型返礼品をさらに拡充し、宿泊が増える国体前後の関係人口、交流人口を増やしてはいかがか。

## 答弁

体験型返礼品は来訪の契機となり、観光資源や豊かな農畜産物など本市の魅力発信の有効な手段である。交流人口増につながるため魅力ある体験型返礼品の拡充に努める。国体では返礼品PRブースでの周知や寄附受付を行う。その前後もPRし新たな矢板のファンを獲得し関係人口・交流人口増を図る。



掛下 法示 議員

## 【今回の質問】

1. 日本の農業と食の安全性について
2. 食料自給率の向上について

日本の食の安全性として有機農業の推進について問う。  
学校給食への有機農産物の提供について問う。

## 質問

日本の農産物は、農薬使用量は世界の中でも使用量が多く、食物の残留農薬により長期間摂取における、健康面での不安があり、その対策として国も有機農業栽培面積拡大の政策大転換を打ち出しております。矢板市の有機農業の拡大についての推進計画を問う。

## 答弁

国において令和3年5月に「みどりの食料システム戦略」を策定し2050年までに有機農業の取組面積の割合を25%に拡大することを目指している。矢板市においても有機農業に意欲的な農業者への適切な情報提供に努めながら、国の取組を注視していく。

## 質問

学校給食の食材に良質な有機農産物の使用割合を高めるとともに、安全な地元の有機食材を使うようにしてはどうか。市の見解を問う。

## 答弁

本市の学校給食においては、一定の給食費の中で一日約2400食分の大量の給食を安定的・経済的に提供できることを物資選定の基準としている。そのため本市産の有機農産物の供給量やそのコスト面を踏まえると、安定供給や価格面での条件が整わない限り難しいと思われる。



石塚 政行 議員

## 【今回の質問】

1. ヤングケアラーの問題について

ヤングケアラーに対する対応の現状と課題について問う。

## 質問

ヤングケアラーに関して矢板市においては、今後、当事者に対しどのように寄り添い、対応していくのかについて、市の考えを伺う。

## 答弁

ヤングケアラーに関しては、当事者である子供の中には、家族の状況を知られることを恥ずかしいと思うたり、家族のケアをすることが生きがいとなっていたり、本人や家族に支援が必要である自覚がないケースもあるといったデリケートな問題がある。

個々の事情に応じて子供の気持ちをくみ取って、支援が必要なのか、どのような支援を求めているのかを確認することが必要だと考えている。

そうしたことから、今後もヤングケアラーへの対応については、子供の気持ちに寄り添って相談に応じ、必要な支援につなげられるよう努めていく。

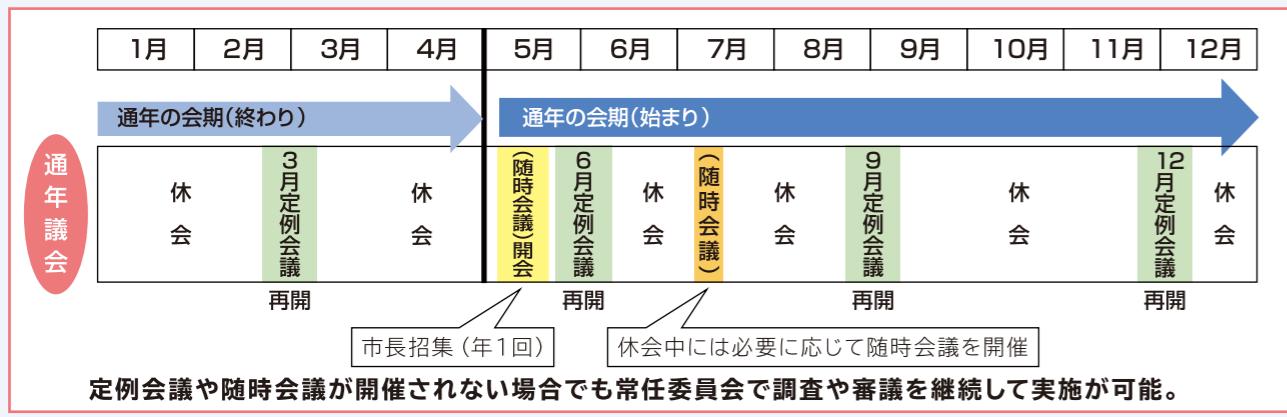
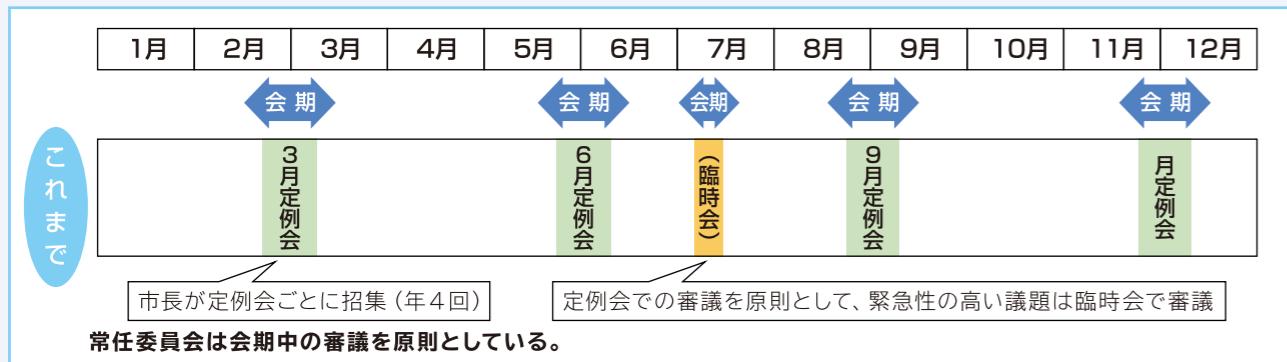
# 市議会の旬をお知らせ 矢板市議会ニュース

## 通年議会に移行します。

矢板市議会では、会期を概ね1年とする通年議会を取り入れます。

のことにより、より柔軟に本会議を開催することができるようになり、突発的に発生する自然災害や緊急の行政課題などに議会として迅速な対応が可能になります。

また、定例会の時期にかかわらず、常任委員会などで継続して調査や審議を行うことができるようになります。



## 議会改革アドバイザー研修で、さらなる進化!

当議会ではよりよい議会運営のために、議会改革アドバイザー研修を実施し、テーマを掲げてグループワークを行っています。

### グループワークのテーマ

- ・商工業の発展について
- ・観光業の振興について
- ・子育て支援について



## ご報告

# 令和3年度 「政務活動費」の交付状況

矢板市議会の政務活動費は、1人当たり年額24万円が上限です。

矢板市議会では執行額を後日請求する「事後交付制度」を採っており、年2回(上半期・下半期)の実績報告を義務付けています。今号では、令和3年度の政務活動費の交付状況についてご報告いたします。

令和3年度は**新型コロナウイルス感染症の影響**により議員活動が制限されたため、例年に比べ低い執行率となっています。



交付決定額	<b>360万円</b>
交付確定額(執行率22.85%)	<b>82万2513円</b>
交付残額	<b>277万7487円</b>

## 《執行内容の内訳》

研究研修費	<b>15万600円</b>
(主な支出は、研修会参加負担金、宿泊費、交通費などです)	
調査費	<b>0円</b>
(主な支出は、宿泊費、交通費、燃料費などです)	
資料作成費	<b>0円</b>
(主な支出は、印刷費、写真プリント代、文書コピー代などです)	
資料購入費	<b>67万1913円</b>
(主な支出は、図書購入費、新聞購読料などです)	
事務所費	<b>0円</b>
(主な支出は、事務機器リース代などです)	

議員別の詳細は、矢板市議会ホームページで公開しております。

## 政務活動費 Q & A

**Q. そもそも「政務活動費」って何?**

**A.** 議員が政策立案や政策提言の力を高めるため、調査研究活動を行う際の経費です。

**Q. どんな経費が認められているの?**

**A.** 上の表に記載されている研究研修費、調査費などが経費として認められています。



# 令和3年度 矢板市議会

# 政務活動費交付状況一覧

(単位：円)

議席番号	議員氏名	交付決定額	実支出額の内訳										実支出額合計	交付確定額	執行率(%)	交付残額	
			期間	研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広聴費	人件費	事務所費	その他の経費						
1 石塚 政行		240,000	上半期									0	0	0.00% 240,000			
			下半期									0	0				
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
2 掛下 法示		240,000	上半期			34,750						34,750	34,750	33.73% 159,050			
			下半期			46,200						46,200	46,200				
			合計	0	0	0	80,950	0	0	0	0	80,950	80,950				
3 神谷 靖		240,000	上半期			20,400						20,400	20,400	17.00% 199,200			
			下半期			20,400						20,400	20,400				
			合計	0	0	0	40,800	0	0	0	0	40,800	40,800				
4 中里 理香		240,000	上半期	10,000		68,534						78,534	78,534	82.26% 42,582			
			下半期	75,000		43,884						118,884	118,884				
			合計	85,000	0	0	112,418	0	0	0	0	197,418	197,418				
5 高瀬 由子		240,000	上半期			22,176						22,176	22,176	33.22% 160,272			
			下半期			57,552						57,552	57,552				
			合計	0	0	0	79,728	0	0	0	0	79,728	79,728				
6 櫻井 恵二		240,000	上半期									0	0	0.00% 240,000			
			下半期									0	0				
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
7 藤田 欽哉		240,000	上半期									0	0	0.00% 240,000			
			下半期									0	0				
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
8 佐貫 薫		240,000	上半期			94,770						94,770	94,770	60.60% 94,549			
			下半期			50,681						50,681	50,681				
			合計	0	0	0	145,451	0	0	0	0	145,451	145,451				
9 伊藤 幹夫		240,000	上半期									0	0	27.54% 173,900			
			下半期	25,300		40,800						66,100	66,100				
			合計	25,300	0	0	40,800	0	0	0	0	66,100	66,100				

(交付の手順は、交付申請→交付決定→政務活動→実績報告→交付確定→請求→交付の手順によります。)

議席番号	議員氏名	交付決定額	実支出額の内訳										実支出額合計	交付確定額	執行率(%)	交付残額	
			期間	研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広聴費	人件費	事務所費	その他の経費						
10 関 由紀夫		240,000	上半期									36,408		36,408	36,408	15.17%	203,592
			下半期														
			合計	0	0	0	36,408	0	0	0	0	36,408	36,408				
11 小林 勇治		240,000	上半期											0.00% 240,000			
			下半期														
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
13 宮本 妙子		240,000	上半期											0.00% 240,000			
			下半期														
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
14 石井 侑男		240,000	上半期											0.00% 240,000			
			下半期														
			合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
15 中村 久信		240,000	上半期									133,980		133,980	133,980		